

世界農業遺産「清流長良川の恵みの逸品」のPR・教育活動等を実施

活動内容



世界農業遺産「清流長良川の鮎」の保全・活用・継承に資する商品が認定されている、「清流長良川の恵みの逸品」を販売重点農畜産物として、消費宣伝活動及びイベント販売を実施しています。また、世界農業遺産の保全・活用・継承に資する取組として、世界農業遺産に係る教育活動や体験活動を行っています。たとえば、美濃加茂市で1000年以上続く伝統的な特産品「堂上蜂屋柿」の製造について、地元の職人から学ぶ親子体験会を開催しました。この体験会のように、地域の伝統文化の継承と担い手の育成につなげる活動を行っています。

地域の声



当地域では、「長良川システム」を保全・活用・継承するため、清流長良川の恩恵を受けて育まれた自慢の商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定しています。

当団体は、地域の誇る特産物を、大都市圏などで幅広くPRするとともに、商談会へも積極的に参加するなど、清流長良川の豊かな水に育まれた農畜産物の魅力を広く発信しています。また、世界農業遺産「清流長良川の鮎」プレーヤーズとして、新規就農者の育成にも力を入れ、認定地域内における産地の維持・発展に向けて各種研修を実施しています。

こうした取り組みを通じて、世界農業遺産の価値を守りながら、農業と地域資源の活用を推進し、今後も「清流長良川の鮎」をPRしていくことで、次世代へつなげる地域づくりに貢献することが期待されます。

企業の声



JAめぐみのは岐阜県のほぼ中央に位置し、5市8町村をエリアとしています。山間部から平地まで自然に恵まれた土地で、さまざまな農畜産物が生産されています。

中でも、長良川上中流域で栽培・生産される「ひるがの高原だいこん」「郡上トマト」「円空さといも」「明方ハム」「堂上蜂屋柿」「おくみのコシヒカリ」「六の里棚田米」「美濃ハツシモ」の8品目は、「清流長良川の恵みの逸品」として認定されています。

当JAでは、これらの農畜産物の普及啓発や保全・継承のため、販売促進イベントや体験教室など、さまざまな活動を行っています。農業遺産オフィシャルサポーターへの登録をきっかけに、より多くの方々に地域の農畜産物の魅力を伝えていきたいと考えています。

今後も積極的なPR活動を展開し、さらなる認知度向上と販路拡大を目指して取り組んでまいります。